



株式会社ディーバ

2010年2月5日

(証券コード：3836、ヘラクレス)

2010年6月期第2四半期決算概要

- ・ ライセンス販売は、投資抑制や IFRS 導入の検討・見極めのため新規大型案件が減少し受注競争が激化、コンサルティング・サービスは大型案件の収束や一部プロジェクトの検収期ずれの発生により、第2四半期累計売上高は前期を下回る。
- ・ 対計画比では、売上高・利益とも第2四半期累計計画未達。通期個別売上高予想を修正するも、下半期は引き続き、商品力強化、販売力強化と経費削減で連結ベースでの期首通期予想の達成に注力。
- ・ 競争優位の確立をめざし、商品の IFRS 対応ならびにソリューション領域拡大への投資は継続。

株式会社ディーバ（本社：東京都大田区、代表取締役社長 森川徹治）はこの度、平成22年6月期第2四半期決算（2009年7月1日から2009年12月31日まで）を発表いたしましたので、概略のご報告をいたします。

尚、平成21年（2009年）11月に新たに株式会社インターネットディスクロージャーの株式を取得したため、当第2四半期より連結決算を実施しておりますが、みなし取得日を当第2四半期末日としたため、当第2四半期の業績には当該子会社の業績は含まれておりません。従って、当リリースでは前期比較の数値について、前第2四半期個別業績の数値を使用しております。

1) 連結業績概況（累計）（平成21年（2009年6月期第2四半期は個別業績））

(百万円、%)	平成21年(2009年) 6月期 第2四半期(参考) (2008/12)	平成22年(2010年) 6月期 第2四半期 (2009/12)	前年同期比 (参考)
売上高	1,888	1,431	△24.2%
営業利益(損失)	257	△29	-%
経常利益(損失)	255	△35	-%
四半期純利益(損失)	150	△31	-%

- 1株当たり四半期純利益(損失) △2,728円66銭(前年同期13,505円95銭)
- 期中平均株式数 11,376株
- 当第2四半期の連結業績には新規子会社の業績は含まれておりません。

本社：東京都大田区蒲田五丁目37番1号 1
設立：1997年
資本金：2億8,640万円
事業内容：ソフトウェアパッケージの開発・販売、コンサルティング・サービス、サポートサービス
ウェブサイト：<http://www.diva.co.jp/>
問い合わせ先：株式会社ディーバ 社長室
TEL 03-5480-7600 FAX 03-5480-7614
e-mail ir@diva.co.jp

当第2四半期におけるソフトウェア・情報サービス産業は、企業がIT投資に依然として慎重な姿勢を継続しており、投資の抑制・先送りに加え、受注競争の激化等、経営環境は厳しい状況で推移しました。

各事業別では、ライセンス販売は投資抑制やIFRS（国際会計基準）導入の検討・見極めのため、新規の大型案件が減少したことに加え、受注競争の激化の影響により、販売高は245,938千円となりました。

サービス分野は、ライセンス販売の停滞及び大型プロジェクトの収束に加え、一部検収の期ずれの発生もあり、既存のお客様への提案強化による受注成果はありましたが、販売高は559,946千円となっております。

一方、経費の削減と効率化に努めつつも、競争優位の確立をめざしたIFRS対応ソリューション提供のための戦略的な支出は継続して行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,431,953千円、経常損失35,891千円、四半期純損失31,040千円となっております。また、平成21年（2009年）12月31日現在におけるDivasystemご利用お客様数は613社となり、第1四半期末比13社増加致しました。

(1) 受注状況

(単位：千円未満切捨て)

事業部門別	平成21年(2009年) 6月期 第2四半期		平成22年(2010年) 6月期 第2四半期		平成21年(2009年) 6月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ライセンス販売	362,769	—	245,938	—	653,322	—
コンサルティング・サービス	576,425	326,376	763,464	397,835	1,074,007	194,317
サポート・サービス	526,929	436,873	571,740	463,348	1,210,082	517,677
合計	1,466,124	763,250	1,581,143	861,183	2,937,412	711,994

(2) 売上実績

(単位：千円未満切捨て/%)

事業部門別	平成21年 (2009年) 6月期 第2四半期	平成22年 (2010年) 6月期 第2四半期	増減		平成21年 (2009年) 6月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
ライセンス販売	362,769	245,938	-116,831	△32.2%	653,322
コンサルティング・サービス	960,874	559,946	-400,928	△41.7%	1,590,516
サポート・サービス	565,146	626,069	60,923	10.8%	1,167,495
合計	1,888,790	1,431,953	-456,837	△24.2%	3,411,334

本 社： 東京都大田区蒲田五丁目37番1号 2
 設 立： 1997年
 資 本 金： 2億8,640万円
 事 業 内 容： ソフトウェアパッケージの開発・販売、コンサルティング・サービス、サポートサービス
 ウェブサイト： <http://www.diva.co.jp/>
 問い合わせ先： 株式会社ディーバ 社長室
 TEL 03-5480-7600 FAX 03-5480-7614
 e-mail ir@diva.co.jp

2) 通期の連結業績見通し

(百万円、%)	平成 22 年 (2010 年) 6 月期 (予想)
売 上 高	3,420
営 業 利 益	330
経 常 利 益	320
当 期 純 利 益	190

1 株当たり予想当期純利益 (通期) 16,330 円 04 銭

下半期については、引き続き I F R S への対応等、制度会計を超えた経営情報に基づく開示要請に対応し、お客様の連結経営・競争力の強化に貢献できるグローバル連結経営ソリューションの提供に全力で取り組んでいくこととしております。また、株式会社インターネットディスクロージャーとの経営統合により、同社の開示情報・法令検索システムとともに I F R S 基準での連結経営や I R 活動のサポートを強化、お客様企業の I F R S 対応に貢献できるソリューションを幅広く提案、提供してまいります。

これにより、平成 22 年 (2010 年) 6 月期の連結業績予想を、売上高 3,420 百万円、経常利益 320 百万円、当期純利益 190 百万円としております。

なお、依然として厳しい経済環境の下、I T ・情報投資については慎重な姿勢が継続しています。I F R S による需要の活性化要因はあるものの、動向の見極め傾向が強く実需への動きは鈍いものとなっており、新規顧客への売上高の減少を保守的に見込み、平成 22 年 (2010 年) 6 月期の個別業績予想の売上高を、次のとおり見直しております。

利益につきましては、継続して経費削減及び生産性の向上に努め、その効果を実現することとしており変更はありません。

* 修正後の平成 22 年 (2010 年) 6 月期個別業績予想

(百万円、%)	平成 22 年 (2010 年) 6 月期 (修正前予想)	平成 22 年 (2010 年) 6 月期 (修正後予想)	増減率	平成 21 年 (2009 年) 6 月期 (参考・実績)
売 上 高	3,420	3,300	△3.5%	3,411
営 業 利 益	330	330	—	319
経 常 利 益	320	320	—	308
当 期 純 利 益	190	190	—	184

以上

当資料は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

本 社 : 東京都大田区蒲田五丁目 37 番 1 号 3
 設 立 : 1997 年
 資 本 金 : 2 億 8,640 万円
 事 業 内 容 : ソフトウェアパッケージの開発・販売、コンサルティング・サービス、サポートサービス
 ウェブサイト: <http://www.diva.co.jp/>
 問い合わせ先: 株式会社ディーバ 社長室
 TEL 03-5480-7600 FAX 03-5480-7614
 e-mail ir@diva.co.jp